

## 効果的に学力を付ける「学習法」

みなさん、高校生の初めての定期考査はどうでしたか、十分に勉強の成果を発揮できましたか。大学や短大に進学する人はもちろんのこと、専門学校への進学を考えている人も評定平均を上げておくことにより、進路実現の可能性がぐっと高まります。埼玉県立大学の受験では、まずは公募制推薦入試の受験をすることになりますが、できれば評定平均はA段階(4.3以上)を取るために日々の授業や定期考査に懸命に取り組んでください。これに加えて試験では英文を読み、その内容に関する意見を日本語の論文にまとめるため、英語と国語の力をつけていく必要があります。

指定校推薦の受験については、推薦枠よりも多くの生徒が希望した場合は校内選考となります。成績だけで推薦者を決定するわけではありませんが、大きくものをいうのはやはり評定平均です。また、3年生になって公募制推薦入試を受けようとしたときに、推薦基準に満たないため出願できないということにならないように、可能性を広げるためにも日々の授業と定期考査には真剣に取り組んでほしいと思います。

では今号では、どの学習に対しても効果的な学習方法を紹介します。勉強法には魔法はありません。コツコツと地道な努力を積み重ねることが肝心です。次に示す勉強法は先輩たちが実践し、とても効果があった2つです。「これは」と思う方法を実行してください。

まこと・・・まじめに こつこつと ともに学ぶ ことが重要です。

### 学習法1：○△×法

勉強をしたら、問題を解いて理解度を確認する必要があります。こんな時、○△×法が効果を発揮します。**8割以上できたら○、6割程度なら△、それ以下なら×**とチェックします。こうやって、自分の目標が達成できたか、また、今の自分のどこが不完全かを意識します。この方法は問題集をやるとき効果を発します。問題番号の隣に、先ほどの基準で問題をやった後に記入します。問題集は繰り返し何度もやらないと十分な効果が上がらないので、○の問題ももう一度行います。そして、再びできたら◎にします。△×のものは2回目にできたら○にします。そして、もう一度やって◎、こうやって全ての問題を◎にしたらおしまいです。完璧です。教科書の目次を使って単元毎に「◎○△×」をつけるのも良いでしょう。

そして、「問題」を解法を意識しながら解きましょう。授業や塾で覚えなさいと言われたことをただ覚えるという「受け身の学習(ごまかし学習)」ではダメです。こういう勉強では応用が利かないため、十分な学習効果が得られません。

### 学習法2：想起法

この方法は、方法としてはとても簡単です。授業で習ったことや覚えたことを思い出すだけです。夜寝る前に今日1日で勉強したことを想起するとさらに効果的です。ここで想起したことはまず忘れません。もし想起できなかつたことはすぐ確認します。その日に勉強したことはその日のうちに片づける。日に日に学力がついてくるのが分かるはずですよ。

効果的に学力を付ける「学びの技法」を裏面に紹介します。

## 効果的に学力を付ける「学びの技法」

### 1 「メモ」をとる技法

メモはいつでもどこでもできる学習方法です。授業でメモをとるようになれば必ず成績は伸びます。

#### (1) まずはメモをとる習慣をつける

- ① 聞きながら要点をメモする
- ② 文字を書くスピードを高める

#### (2) メモの応用

- ① 資料を読みながら、アンダーライン、○囲み、コメントを入れる。
- ② 本を読みながら、アンダーライン、○囲み、コメントを入れる。

### 2 「端切れ時間」を活用する技法（※1年生には少し早いかもしれませんが、紹介します）

通学途中や休み時間、家での夕食前など5～10分のちょっとした時間(端切れ時間)が毎日5回以上あります。このような時間に何を学習するかをあらかじめ決めておいて、有効活用しよう。

#### (1) 1日を振り返る

自分の1日の生活を振り返ってください。いくつ端切れ時間がありましたか。5～10回はあるはずです。時間にすれば、1日60分～90分だと思います。まず、この端切れ時間の回数と時間を算出します。

#### (2) 端切れ時間で行う学習を計画する

この端切れ時間でどのような学習をするかを決めます。そして、1日どの程度行うかを計画します。私の場合、朝の電車の中(25分)では、1日の計画の確認と懸案事項についてのメモ作成を行います。帰りの電車では「メモの読み返し」や読書を行います。

#### (3) 端切れ時間用学習アイテム(教材)を携帯する

端切れ時間で使う学習アイテムは、常時携帯できるものでなければなりません。みんなのスマホにはターゲットの友1200のアプリがあります。有効に活用してください。